

令和6・7年度 入札参加資格 審査申請受付開始

町が発注する業務の入札に参加するためには、あらかじめ入札参加の資格審査が必要です。令和6年度と令和7年度に町が発注する「建設工事」、「設計・測量・建設コンサルタント等業務」と「物品の納入・役務の提供等業務」の入札参加資格審査申請の定時受付を開始します。

申請は、「あいち電子調達共同システム」を利用してのインターネットによる電子申請で行ってください。

業務の内容によって、アクセスするサイトが異なります。また、受付期間や時間が定められていますので、ご注意ください。システムの詳細は、あいち電子自治体推進協議会事務局のホームページでご確認ください。

▼受付期間(システム入力期間)

1月4日(木)～2月15日(木)(土・日曜日および祝日を除く)

午前8時～午後8時

▼申請要領

町のホームページからダウンロードできます

▼問合せ 総務課総務・財政グループ

☎ 28・6003

年始のごみ収集日程

年始のごみ収集は、1月4日(木)から平常どおり収集を行います。

区分	とき	1月
ごみ収集	可燃	第1地区 6日(土)から
		第2地区 5日(金)から
	不燃	第1地区 4日(木)から
		第2地区 17日(水)から
資源分別収集 (缶・ビン・紙パック・ペットボトル・食品トレー・ 容器包装プラスチック・金物・発泡スチロール)	第1地区	11日(木)から
	第2地区	10日(水)から
紙資源分別収集		21日(日)
リサイクルステーション		5日(金)から
し尿汲取り		5日(金)から

▼問合せ 住民課環境保全グループ

☎ 28・0916

ジョーの窓辺.....No.13

「広報とよやま」に毎月コラムを書きます。びっくりしたこと、日本で生活し、ちょっと困ること、日本のいいことなど、たっぷり書きたいと思います。



最近、毎年誕生日には気が向かなくても何かすることを決めていた。10代の頃には、誕生を祝う必要なんてないと思っていた。自分の誕生日を大事にしていなかったというわけだ。元々は誕生日だけでなく、クリスマスやハレの日などを大事にしないタイプだったが、色々な出来事を経て、自分だけでなく、身近な人の誕生日も大事にしないといつか必ず後悔すると悟ったのだ。

昨年の誕生日には、茨城県の笠間市に住んでいる陶芸職人に会いに行った。そこで、今年も陶芸関係のことをやりたいと思って、少し交流があった常滑市に住んでいる水野博司さんを訪ねることにした。陶芸作品と一緒に作る約束をしたのだ。水野博司さんは常滑市で活躍している急須職人だ。彼は約50年間急須を中心に作品を作り続けている。水野さんの師匠は、三代目山田常山という急須をメインに活躍していた唯一の人間国宝だった。水野さんの作品は、山田常山さんの床の間に飾っているようなハレの日にしか使わない急須ではなく、日常使いの道具として作られている。

今年2月に、以前購入した急須の箱に入っていた陶歴(職人や陶芸家の経歴のこと)に書いてあった電話番号を頼りに水野さんに連絡をした。水野さんの作品を愛用しており、お会いしたいことを伝えたと、水野さんは「いいですよ」と即答してくれた。その数週間後、水野さんのお宅にお邪魔し、急須作りや師匠の作品のことなど、夕方まで楽しい会話が続いた。帰る前に彼の湯冷まし(煎茶や玉露を入れる時にお湯を冷ますピッチャー)

を購入したいと伝えたが、「いまはサンプルしかないが、これからまた作るので、また来てください」ということだったので、湯冷ましは購入せずに帰ってきた。

9月に湯冷ましを取りに行ったときに、「急須を作ってみないか?」と聞かれ、11月23日の誕生日に行くことが決まった。朝早く起きて常滑市まで行き、2時間半ぐらいかけて急須作りに挑戦した。自信満々の面持ちで行ったのだが、結果は散々だった。今まで引いたことのない状態で土を使ったので、中心を出すこと(ろくの盤に土を中心に置くこと)ができず恥づかしかった。「中心が出ないことには先に進めない」と水野さんに言われた。自分はまだまだなんだと痛感した。

この通り、なかなか思うようにはならなかったが、「今年も誕生日に面白いことができた」と言えるだろう。この悔しい気持ちをばねに陶芸をもっと頑張ってまた水野さんのところで再チャレンジしたいと思う。



水野さんの急須と湯冷まし

英語のワンポイントレッスン
Things didn't go as planned.
(思ったようにならなかった。)